

9 太陽磁場活動望遠鏡披露式典

太陽磁場活動望遠鏡が飛騨天文台に設置されました。10月15日にその新望遠鏡を披露する式典が飛騨天文台で行なわれました。京都大学から、長尾京大総長、清家研究協力部長をはじめ経理部、研究協力部、情報化推進部の方々、理学研究科より笹尾理学研究科長、宇宙物理学教室、理学部事務室の方々、さらに基礎物理研究所、防災研究所の方々のご出席を頂きました。また、他研究機関からは、宇宙航空研究開発機構、国立天文台の方々がご参席頂きました。地元である上宝村からも小池村長をはじめとして三役、議会関係の方々がおこし下さいました。式典は、黒河台長の開会の辞に続いて、笹尾研究科長の式辞、



長尾総長の祝辞

長尾総長の祝辞を頂いたあと、小池村長とともにテープカットで新望遠鏡の門出を祝って頂きました。その後、ご出席の皆様方に、太陽磁場活動望遠鏡の観測室、観測状況、観測画像を披露しました。ご案内した太陽彩層の全面画像、ベクトル磁場分布の高い分解能が皆様に強い印象をもって頂けた様子でした。

式典後、上宝トカイリゾートホテルにて、祝賀会を開きました。長尾総長の乾杯のことばのあと、ご参席の方々に太陽磁場活動望遠鏡の概要、望遠鏡の特長と運用、期待される成果について、黒河台長、北井助教授、柴田教授がそれぞれ紹介をしました。その後、小池上宝村長、小杉宇宙航空研究開発機構教授(研究主幹)、桜井国立天文台太陽物理学研究系主幹教授のご祝辞があり、飛騨天文台の発展への期待、世界第一級の高精度観測の評価、共同観測の更なる進展などについてお言葉を頂きました。最後に、この望遠鏡の設立に尽力頂いた関係者の方々に感謝状の贈呈があり、黒河台長の辞でお開きとしました。



(上左) テープカット、(上右) SMART 観測室、(下) 祝賀会の様子

(北井)